

日本の医療機関における針刺し切創事例の収集と予防策の検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院で収集した針刺し切創・粘膜曝露事例のデータを、職業感染制御研究所によるエピネット日本版サーベイランスネットワークに提供することとなりました。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年11月16日～2020年3月31日

〔研究課題〕

日本の医療機関における針刺し切創等の事例の収集と予防策の検証するための事例データの提供

〔研究目的〕

針刺し切創等の事例データをもとに医療機関における針刺し切創発生のメカニズムを明らかにし、感染予防策の検討をします。職業感染制御研究所が行う多施設共同研究です。

〔研究意義〕

得られたデータをもとに職業感染予防策の向上に役立てます。

〔対象・研究方法〕

2012年4月～2018年3月までの期間にエピネット日本版A・B報告書を感染制御部に提出した方が対象です。報告書のデータは、この研究を担当している職業感染制御研究所に送られます。

〔研究機関名〕

職業感染制御研究所（代表：森屋恭爾東京大学大学院医学部系研究科感染制御学教授）が主体となつて行う後方視的観察研究に帝京大学医学部附属病院感染制御部も協力をします。

〔個人情報の取り扱い〕提供するデータ

提供するデータには、氏名・カルテ番号・職員番号など個人を特定できる情報は含まれません。情報を外部に漏らすこともありません。

対象となる方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 菊池 智美 帝京大学医学部附属病院 感染制御部 看護師

研究分担者： 松永 直久 帝京大学医学部附属病院 感染制御部 部長

TEL:03-3964-1211(代表) [内線:30657]